

各位

プレスリリース

2022 年 9 月 14 日

ぶどう株式会社

世界初！『ブロックチェーンビジネスカード』サービス提供を開始。

ブロックチェーン上の HTML 名刺と現物名刺の DX

～ Web3 時代の新しい名刺のカタチ！～

ぶどう株式会社(所在地：大阪府大阪市、代表取締役：矢田 行雄)は、ブロックチェーン技術を利用した現物名刺【ブロックチェーンビジネスカード】のサービス提供を開始しました。



ブロックチェーンは、ネットワーク上にあるノードと呼ばれる端末同士を接続したコンピュータネットワークで形成されており、取引記録を暗号技術を使って分散的に処理・記録するデータベースの一種で、(1)ネットワークの一部に不具合が生じてシステムを維持でき、(2)なりすましが困難でデータ改竄はほぼ不可能という特徴があります。

現在、パブリックブロックチェーンでは一般的にデータを書き込むコストが高額となるため、ストレージとしての活用方法ではなく、主に固有性を証明する手段として用いられます。しかし、ブロックチェーン上に半永久的に存在し続けるフルオンチェーン書き込み技術である NFT-Drive(特許出願中、開発者：中島 理男)は、HTML を含む様々なデータファイルをブロックチェーン上に保存する事が可能であることから、同サービスでは分散型ストレージも活用方法の一つであると提唱しています。

ぶどう株式会社は、ブロックチェーンの分散型ストレージとしての役割に着目し、名刺データ

をブロックチェーンに書き込む仕様に合わせた HTML ファイルとして生成する Web アプリケーション【バーチャルカードトークンつくる】の開発を行い、HTML ファイルと紐づくトークン(NFT、FT)とすることで、専門知識なしで画像ファイルや連絡帳ファイル等を含めた単一 HTML ファイルを生成でき、自社サーバ管理者不要の分散型デジタル名刺として発行できるようになりました。

【ブロックチェーンビジネスカード】は、このアプリで生成しトークンで紐付けたデータを、物理名刺に掲載した QR コードにより参照する事で、その機能を拡張します。

トークンに紐づくデータ自体はブロックチェーン上に刻まれているため、(1)自社サーバなし、(2)CMS アップデート等のアプリケーション管理なしでご利用いただくことが可能です。また、(3)ノードの数だけ分散化することも可能で、特定のサーバへのリクエストが集中するのを避ける事ができます。

HTML を利用するため、当社サービスでは下記の特長を持たせております。

- 多言語対応。テキスト(文字データ)と画像が混在できる。
- マルチデバイス対応。レスポンシブデザインにより、デバイスに合わせた変形が可能。
- 対応機器ならバーチャルカードから電話帳に直接登録できる(VCF 形式)。リスト化可能な CSV 形式、JSON 形式にも対応。
- デザイン部分で必要な箇所だけを画像として扱うため、データサイズを小さくできる。
- 単一データファイルであるため、画像の外部参照などのリードタイムを削減できるため、表示が早い。



他にも、HTML ファイルですので、クリックするだけで電話をかける事や SNS 情報にアクセスする事ができ、住所情報から地図を閲覧したりと、利用者様が自社のサービスにすぐにアク

セスでき、ビジネスの基本情報である名刺からカスタマーリレーションシップの向上に貢献することができます。



「ブロックチェーンビジネスカード」

「バーチャルカードトークン」を参照するQRコード

利用者は今までよりも**簡単**に…

- ☑ 電話をかける事
- ☑ サイトを見る事
- ☑ SNSをフォローする事
- ☑ 場所を確認する事
- ☑ Symbolを送信する事
- ☑ 連絡帳等に追加する事
- ☑ わかる言葉で読む事 なんと3カ国語！

ができる！

また、名刺情報がブロックチェーンに書き込まれており、変更・改竄・削除が事実上不可能であるため、たとえ数百年経ったとしても、トークンを発行した時点で自身や自社がその場所に存在していた、という証の機能も持たせる事ができます。

【公開履歴】

- ・2022年1月21日 (1)パブリックブロックチェーン(Symbol Testnet)上に、フルオンチェーンの商用 HTML ページ「182KBの画像付き NFT 作品紹介」公開
- ・2022年1月25日 (2)パブリックブロックチェーン(Symbol Testnet)上に「バーチャルカード FT(トークン)」公開。
- ・2022年3月20日 パブリックブロックチェーン(Symbol Mainnet)上に(3)「バーチャルカード FT(トークン)」,(4)Web アプリケーション「バーチャルカード FT(トークン)つくる v1.00」公開。
- ・2022年9月8日 パブリックブロックチェーン(Symbol Mainnet)上に(5)「バーチャルカードトークン」を発行し、それを QR コードで参照する現物名刺(6)「ブロックチェーンビジネスカード」のサービスを開始。
- ・2022年9月12日 パブリックブロックチェーン(Symbol Mainnet)上に(7)Web アプリケーション「バーチャルカードトークンつくる v1.10」公開。

▼上記のブロックチェーン Token Address

- (1)TBUH37YJ35GGUQCWRVZ45FNW44G6QCKH2HHSD7A
- (2)TCUB35KGVE7ZMQPDFVYFN5GQ5YGFAXYKNAKJJOQ
- (3)NDOB2RTNVTPO6YTHB27FEAOKLJFI5EKTHOSYDQ

(4)NDOAZMFG4CCYLWBUY4ZVIP4A5TQ7GME56X3ZRUA

(5)NAVRGHNGZNPDFYGMEUGZTNJJSSHZLV4VTZLAY4Y

(7)NA74GYXT75ZNHCKQGXHTCVL6FD2V2SFV3LPJM7Y

＊ブロックチェーンでの参照は、URL の代わりにアドレス等で管理されています。前述の HTML ページや Web アプリケーションは NFT/FT として紐付けされており、それぞれ上記のトークンアドレスが割当てられています。

▼ブロックチェーンエクスプローラー(Symbol)

テストネット： <https://testnet.symbol.fyi/accounts/> [Token Address]

メインネット： <https://symbol.fyi/accounts/> [Token Address]

＊エクスプローラーでは、ブロックチェーン上のトークンの発生や移転情報などが時系列で確認できます。

▼公開デコード URL

・ [https://nftdrive-explorer.info/download.php?address=\[Token Address\]](https://nftdrive-explorer.info/download.php?address=[Token Address]) (NFT-Drive 公式)

・ [https://nftdrive-explorer.grape.ne.jp/?address=\[Token Address\]](https://nftdrive-explorer.grape.ne.jp/?address=[Token Address]) (当社、ぶどう株式会社)

＊デコーダのプロトコルは一般公開されており、誰でもデコーダを自サーバにアップロードすることが可能です。



Webアプリ
バーチャルカードトークンつくるv1.10



バーチャルカードトークン
FT名刺：ぶどう株式会社



バーチャルカードトークン
FT名刺：写真家 小串周三

上記はいずれも、QRコードからデコーダを経由してブロックチェーン上のフルオンチェーンデータを参照して表示させる。
一見すると通常のWebサーバと何ら変わらない、まさに実社会に溶け込んだブロックチェーンの利用である。

なお、フルオンチェーンでトークン化された商用 HTML ページ、フルオンチェーンでトークン化された Web アプリケーション【バーチャルカードトークンつくる】、ブロックチェーン上の HTML を参照する現物カードを制作するサービス【ブロックチェーンビジネスカード】は、いずれも当社が世界初(＊当社調べ)となります。

【会社概要】**■ぶどう株式会社**

所在地：〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江 1-6-5 大輪ビル 5 階 AB

代表：代表取締役 矢田 行雄

設立：2021 年 4 月

E メール：info@grape.ne.jp

URL：https://grape.ne.jp

「ブロックチェーンビジネスカード」概要紹介 URL

<https://grape.ne.jp/article/blockchain/blockchain-business-card/>

【事業内容】

- ウェブサイト、オンラインアプリケーション、オンラインサービスの制作、運営
 - ソフトウェアの企画、開発、保守
 - 企業戦略・企業革新の支援、マーケティングリサーチ、自然言語処理
 - 広告、写真、出版、各種の宣伝
 - 各サービスに付随する外国語翻訳
- その他、関連事業等。

【お客様からのお問合せ先】

ぶどう株式会社

メールアドレス：info@grape.ne.jp

*「QR コード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。